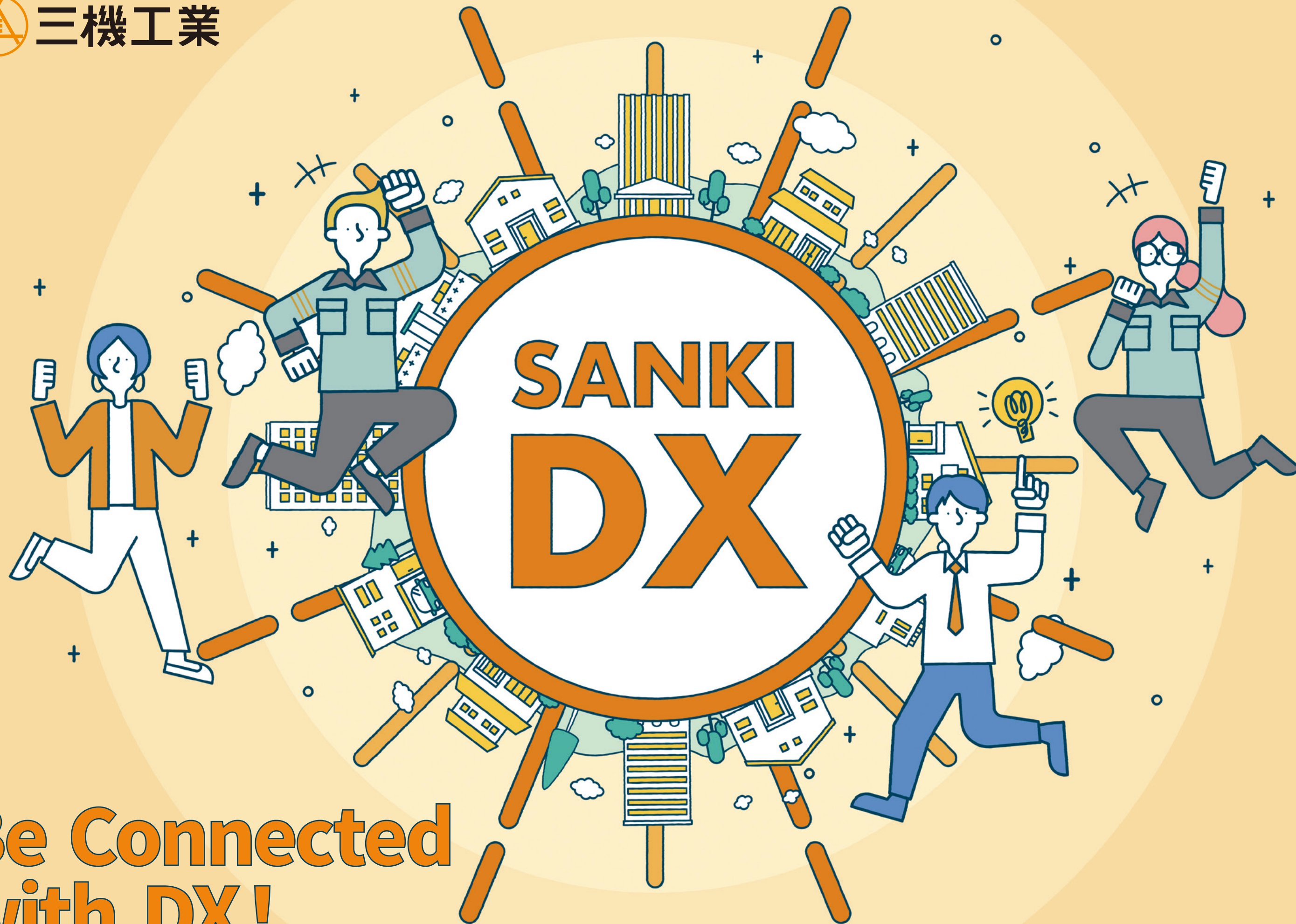




Be Connected
with DX!

SANKI
DX
VISION

共創サイクル

「知」の Co-Creation Cycle で、 全グループ社員が ^{つな}Connected 組織になる！



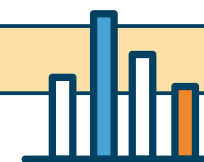
働く仲間の幸福を実現する

経営と現場をつなぎ、
全社横断的な
デジタル化を推進



未来の社会・環境の
『ニーズ』に応える業務変革・
技術革新を目指す

全社的な
ナレッジの活用が
一人ひとりの創造性を高める



技術やデータの
集約と分析が新しい
価値の『シーズ』となる

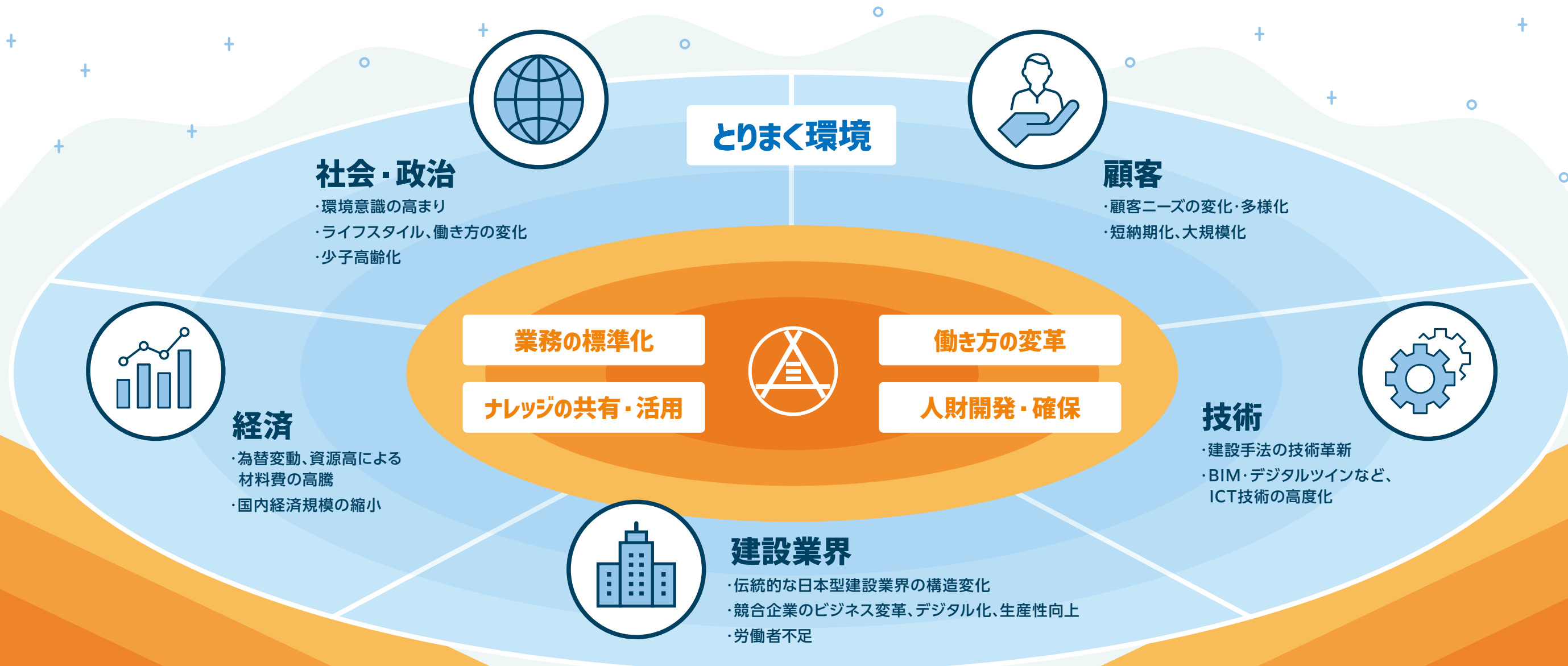
業務プロセス
改革

デジタル
基盤の構築

デジタル人財の
育成・強化

三機工業グループの「デジタル改革の方向性」

複雑で変化の激しい事業環境に対応するため、ビジネスモデルの変革が求められています。
三機工業グループではデジタル技術を活用し、この変革実現に向けた施策を着実に実行していきます。



改革施策①

業務プロセス改革

- 業務プロセスの見える化、効率化、標準化
- 業務・文書の簡素化、統合改廃、標準化
- 施工管理業務の役割分担見直し

改革施策②

デジタル基盤の構築

- 統合的な新業務システムの構築
- 現場業務の質的向上に寄与するICTツールの活用推進
- BIMの高度活用に向けた環境整備
- 施工事例のデータベース化

改革施策③

デジタル人財の育成・強化

- デジタル人財育成方針の策定
- 効果的なデジタルリテラシー教育プログラムの策定
- 社員のデジタルスキルの可視化と戦略的な育成

改革施策①

業務プロセス改革

改革の第一歩は、まず現状をみて課題を知ることから。
各種業務のヒアリングを基に業務フローや
役割について見直しを行い、構造的に整理することで
最適化・効率化を図ります。

改革施策②

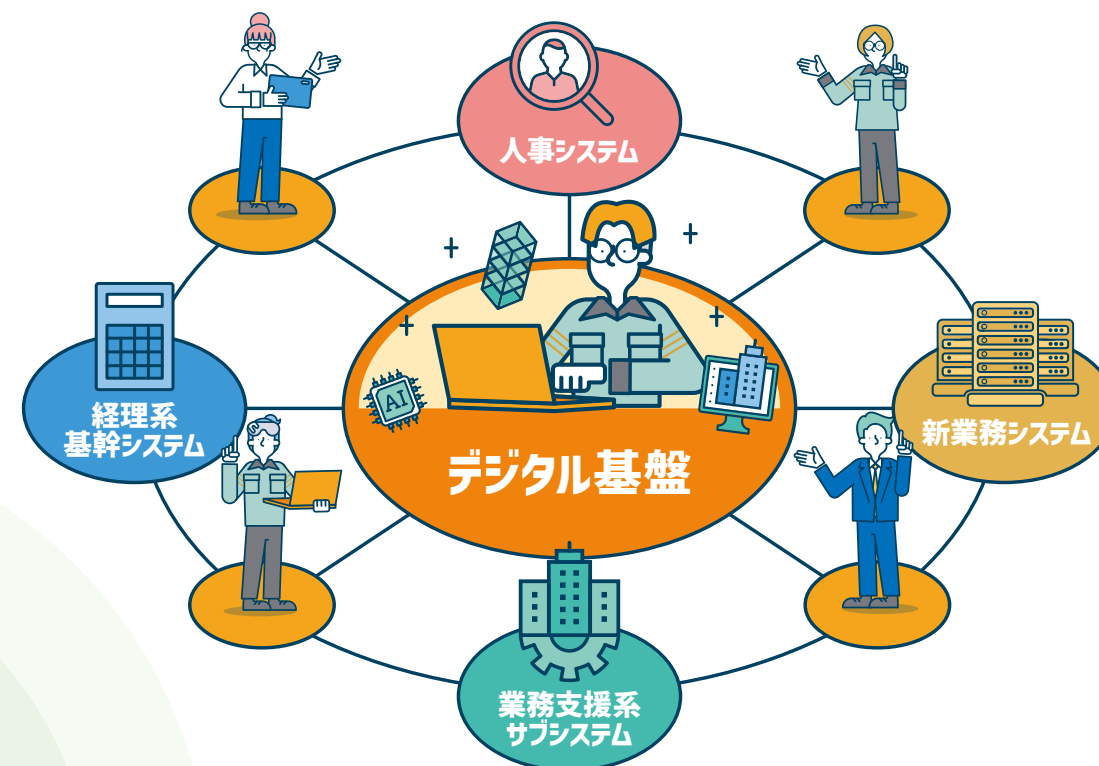
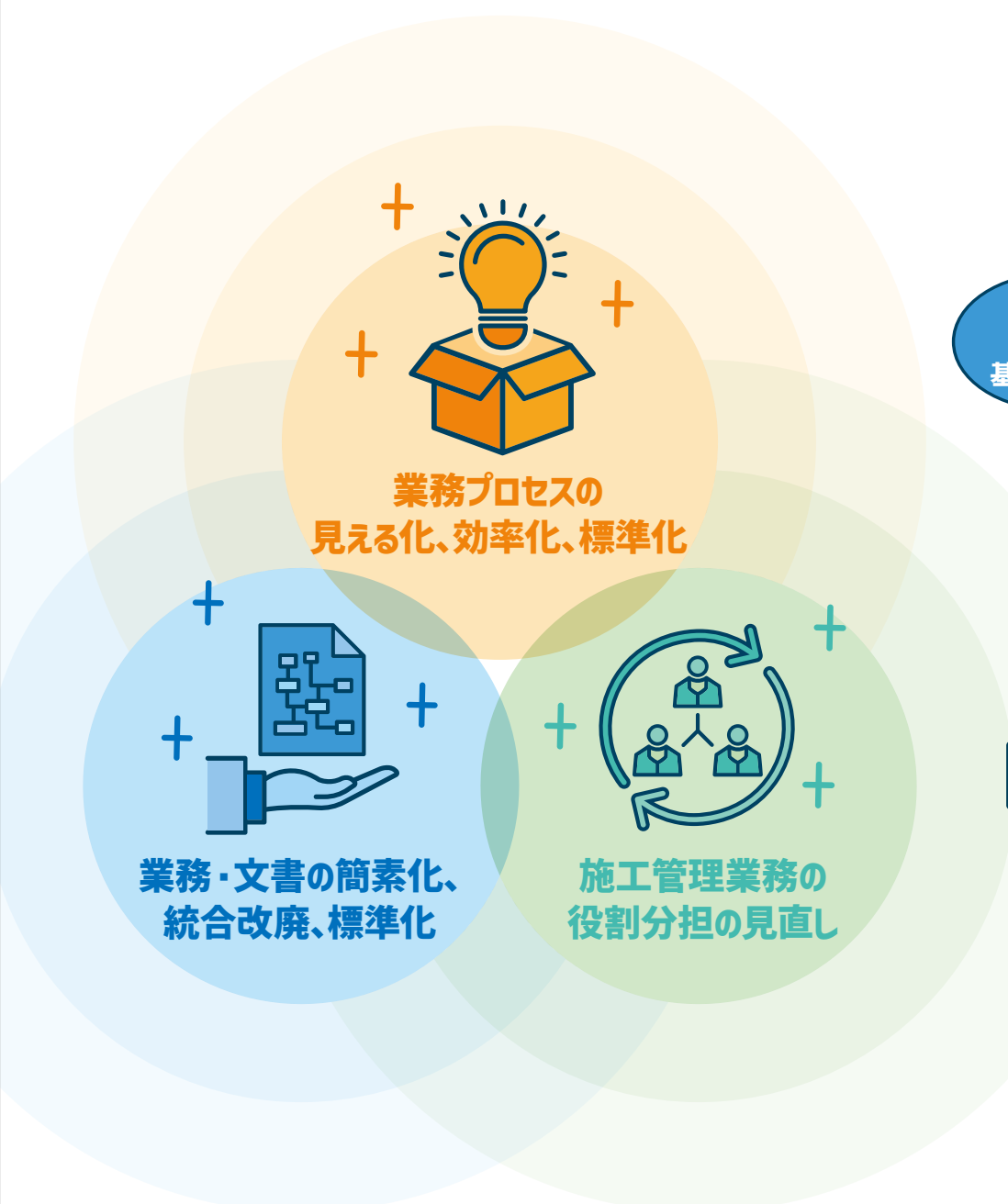
デジタル基盤の構築

業務プロセス管理機能を備えた新業務システムを構築し、
基幹システムやそのほか関連システムおよび
各種ICTツールとシームレスに連携。
業務と人とが繋がる統合的なシステム基盤を創り上げます。

改革施策③

デジタル人財の育成・強化

ビジネスとデジタル両方の知識を持ち、
会社のDXを牽引する人財を育成・積極採用。
全社的なDXリテラシーの底上げにより、
自ら考え挑戦する風土を醸成します。



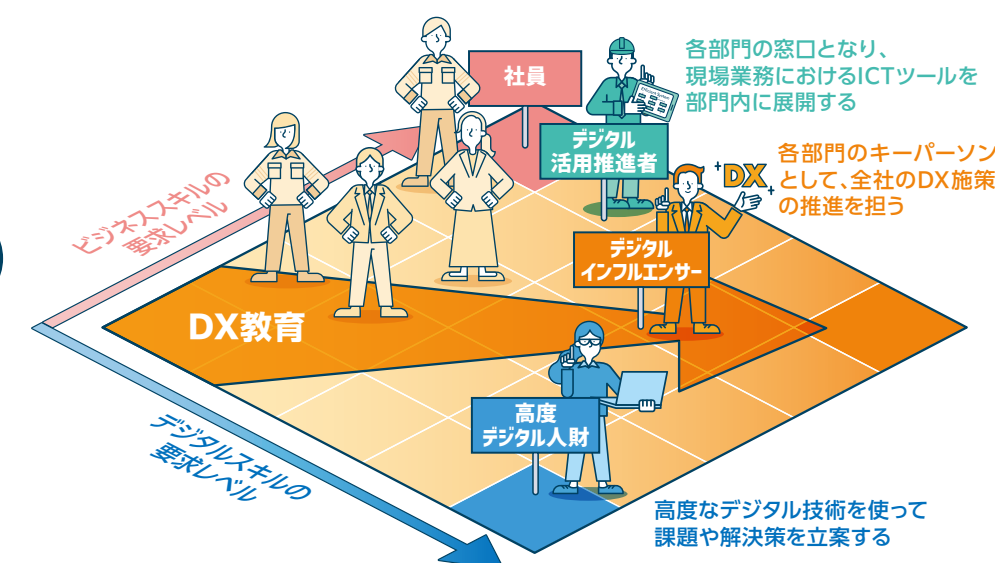
各種ICTツールも連携



業務管理支援ツールや自動化技術、
ロボットを含めたICT活用により現場業務の質的向上を実現。
情報共有や現場事例のデータベース化にも寄与します。

DX リテラシーの向上

社内eラーニングなどを活用した学習機会を拡充し、
社員全体のデジタルリテラシーを向上。
ビジネスとデジタルのスキル両面を幅広く有した人財を育成します。



デジタル推進人財の選任・配置

DXを推進する人財を各拠点に配置。
現場の知見とデジタルの知識を掛け合わせる
ことで、それぞれの拠点における自発的な
変革を促します。





実現に向けたロードマップ

2030~

NEXT
STAGE

DXの実現 さらなる成長

地球環境・社会・お客さま・グループ社員
などに対して、将来にわたり、
総合エンジニアリング企業として「カイ
テキ」を提供し続ける

- 統合データ利活用による業務効率極大化
- 自律的デジタル人財によるDX推進
- 新たな価値を生むビジネススタイルへの変革

STEP
03

新たな基盤の活用
デジタル人財の活躍
ビジネススタイルの変革

業務プロセス改革
デジタル基盤の構築
デジタル人財の育成

STEP
02

- 建築系業務フロー見直し、新業務システム構築
- ICT、デジタル技術の十分な利活用による業務合理化・品質向上
- デジタル人財の育成・強化

DX施策を推進していくにあたり、KPI・KGIを設定します

- A 次世代に向けた成長投資
- B 全社的なデジタル教育
- C BIMおよびBIM対応ソフトの活用
- D ICT技術・ロボティクス技術の活用

STEP
01

DX組織立上げ
DXビジョン検討

PROJECTED IMPACT

生産性の向上

社内外の環境変化をふまえて業務プロセスを最適化し、社員一人ひとりのパフォーマンスを向上。

人財配置の最適化

統一化された業務プロセスに則り、組織内での情報共有と業務分担をよりスムーズに。

労働時間の平準化

会社全体の組織の職務分掌・人員配置を見直し、労働時間の偏りを平準化。

業務品質の向上

BIMを含む様々なデジタル機器を積極活用し、現場業務の品質を向上。

データ連携の強化

新業務システムを通じて他の基幹・サブシステムとのデータ連携を強化すると共に、業務プロセス全体の品質管理や進捗管理を容易に。

ナレッジの蓄積・活用

各種文書や施工実績のデータベース化により情報活用を促進し、業務プロセスを迅速化・効率化。

デジタル改革で 次の100年をつくる

2023年4月、三機工業グループ全体の業務改革の推進および新サービスの創造を主導するため、「デジタル改革推進本部」を新設しました。

複雑で変化の激しい事業環境に対応するため、デジタル基盤の構築を通じて、当社グループ社員が
“[知]のCo-Creation Cycle”^{共創サイクル}で“Connected”^{つながる}ことで、これからの100年をつくってまいります。

経営理念「エンジニアリングをつうじて快適環境を創造し、広く社会の発展に貢献する」を具現化していくうえで、デジタル改革の推進は急務です。
これまでも当社ではスマイルプロジェクト、従業員と経営層との対話イベント、基幹システムの刷新など、様々な施策を通じて企業変革に向けた準備を進めてきました。

これからも、デジタル改革をより一層進め、企業変革を実現してまいります。

三機工業株式会社
代表取締役社長 石田 博一

